

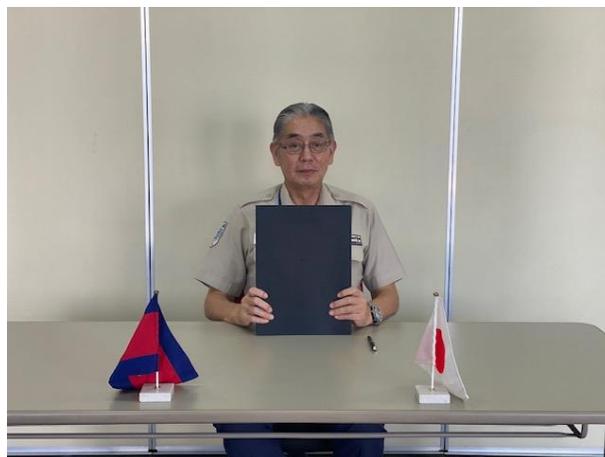
令和2年度日本NGO連携無償資金協力署名

認定特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会
「バンテアイミアンチェイ州における地雷・不発弾処理を伴う復興支援事業（第1年次）」
「ストゥントレン州における不発弾（クラスター弾）機械処理を伴う復興支援事業（第1年次）」

特定非営利活動法人 国境なき子どもたち
「カンボジア、パイリン州におけるコミュニティ・ラーニング・センター（CLC）の質の向上を通じた青少年の就労支援事業（第2年次）」

令和3年3月1日（月）、令和2年度日本NGO連携無償資金協力に係る署名を当館多目的ホールにて実施しました。三上正裕特命全権大使が、（認定特活）日本地雷処理を支援する会の末永典良現地事業統括責任者との間で「バンテアイミアンチェイ州における地雷・不発弾処理を伴う復興支援事業（第1年次）」（供与限度額873,827米ドル）及び「ストゥントレン州における不発弾（クラスター弾）機械処理を伴う復興支援事業（第1年次）」（供与限度額889,424米ドル）について、（特活）国境なき子どもたちのスレイ・サカン現地事業統括との間で「カンボジア、パイリン州におけるコミュニティ・ラーニング・センター（CLC）の質の向上を通じた青少年の就労支援事業（第2年次）」（供与限度額472,113ドル）について、それぞれの贈与契約書に署名しました。

（認定特活）日本地雷処理を支援する会は、これまでカンボジア各州において地雷・不発弾の技術移転及び地域住民への危険回避教育に取り組まれてきました。今回の2事業では、CMA C（カンボジア地雷対策センター）への地雷・不発弾及びクラスター弾処理の技術移転及び処理後跡地周辺の農民に対し試験農場を用いた農作物の安定的な栽培や収量向上に向けた支援に取り組まれます。本事業を通じて、地雷・不発弾全廃を目指すCMA Cの取り組みを後押しするとともに、地域住民の生活環境が改善されることが期待されます。



（認定特活）日本地雷処理を支援する会
現地事業統括責任者による署名の様子



(特活) 国境なき子どもたち
現地事業統括による署名の様子

(特活) 国境なき子どもたちは、本事業を通じて若者の中途退学率が高いパイリン州において州教育局及び運営委員会によって運営が行われているコミュニティ・ラーニング・センター（CLC）の運営支援や職業訓練内容の見直しを支援してきました。事業2年次である本年次においては、先行2ヶ所のCLCに加え新たに4ヶ所のCLCの環境整備及びCLC参加への促進活動の他、事業実施地であるパイリン州内で若者を支援している団体間のネットワーク形

成を通じた連携強化を実施される予定です。本事業を通じて、若者たちが安定した仕事に就けるための教育を受け技術を身に着けることでより良い生活を送れることが期待されます。



三上大使による署名の様子

署名後、三上大使が、今回の支援が対象地域の人々に直接裨益し、カンボジアと日本の更なる友好促進につながることを願うというメッセージを発出しました。（了）

令和3年3月1日

3月1日、日本NGO連携無償資金協力の署名を実施いたしました。今回は2月20日に発生した市中感染の影響を鑑み、郵送により事務的に署名いたしました。COVID-19の影響が一刻も早く収まることを願っております。

さて、日本NGO連携無償資金協力は、日本政府が日本の国際協力NGOに対して、開発途上国・地域で実施する経済社会開発事業を支援する制度として2002年から始まりました。カンボジアでは、2002年から現在まで130を超えるプロジェクトを支援してまいりました。それぞれのプロジェクトが、カンボジアの方々の生活の質の向上へ貢献されています。

本日、署名した事業は以下のとおりです。

認定特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会（JMAS）

「バンテアイミアンチェイ州における地雷・不発弾処理を伴う復興支援事業（第1年次）」
「ストゥントレン州における不発弾（クラスター弾）機械処理を伴う復興支援事業（第1年次）」

特定非営利活動法人 国境なき子どもたち（KnK）

「カンボジア、パイリン州におけるコミュニティ・ラーニング・センター（CLC）の質の向上を通じた青少年の就労支援事業（第2年次）」

署名した各事業についてご紹介します。

まず、「日本地雷処理を支援する会」が実施する2つの事業に対し、今回、日本政府からあわせて1,763,251米ドルを供与いたします。同団体は、これまでカンボジア各州において地雷・不発弾処理の技術移転、地域住民への危険回避教育を行われてきました。本事業では、これまでのCMAC（カンボジア地雷対策センター）への地雷・不発弾及びクラスター弾処理の技術移転もさることながら、処理後跡地の一帯の農民に対し、試験農場を用いた農作物の安定的な栽培や収量向上に向けた支援に取り組まれます。長年にわたって安全かつ効率的な地雷・不発弾処理に努めてこられた「日本地雷処理を支援する会」の取り組みに敬意を表しますとともに、本事業を通じて、地域住民が地雷・不発弾及びクラスター弾の恐怖から解放され安全な生活を送れるとともに、農家の方々の生活環境が改善することを期待しております。

次に、「国境なき子どもたち」が実施する事業に対しては、今回、日本政府から472,113ドルを供与します。同団体が活動するパイリン州は、カンボジアの中でも若者の中途退学率が高い州の一つであり、将来につながる教育や技術の習得機会が失われている状況となっています。本事業では、同州で州教育局及び運営委員会によって運営が行われているコミュニティ・ラーニング・センター（CLC）の運営支援や職業訓練内容の見直し及び環境整備を支援されてきました。事業2年次である本年度署名する事業においては、新たに4ヶ所のCLCの環境整備及びCLC参加への促進活動の他、同州内で若者を支援している他団体とのネットワーク形成を通じた連携強化を実施される予定です。長年にわたってカンボジアの青少年支援に取り組んでこられた「国境なき子どもたち」のご活動に敬意を表しますとともに、本事業を通じ、若者たちが安定した仕事に就けるための教育及び技術を身に付け、より良い生活を送れることを願っております。

近年、発展目覚しいカンボジアではありますが、貧困対策、保健、教育環境を含む社会開発など、人々の生活向上のために取り組むべき課題は山積していると思います。COVID-19が世界的に問題となる中であっても、日本は、今後とも、国際協力NGOの皆さまと連携し、様々な課題解決のお手伝いが出来ればと考えます。

関係者の皆様の御健康と御多幸、両国の友好のますますの発展を祈念致します。

在カンボジア日本国大使館
特命全権大使 三上正裕



EMBASSY OF JAPAN
IN THE KINGDOM OF CAMBODIA

PRESS RELEASE

No.09 PR-21/EoJ

1 March 2021

Japan Provides US\$ 2,235,364
for Promoting Community Development through
Mine and Cluster Munition Clearance, and for Capacity Building of Youth

The Government of Japan has agreed to provide US\$2,235,364 in total for two recipient organizations under the framework, *The Grant Assistance for Japanese NGO Projects*. The Grant Contract was signed today between H.E. Mr. MIKAMI Masahiro, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan to the Kingdom of Cambodia, and the representatives of the two recipients respectively, to carry out the following projects:

1. ‘Reconstruction Support with Demining in Banteay Meanchey: RSDB (Year 1)’
(US\$873,827)

Recipient: Japan Mine Action Service (JMAS)

In this project, JMAS will transfer the efficient and safe clearance mines and unexploded ordnances (UXOs) method to Cambodia Mine Action Center (CMAC) aiming to enhance its capacity and accelerate its effort in making the nation land safe. The organization will also provide agricultural training for paddy cultivation for farmers on the site of cleared land as experimental fields, and assist Agricultural Cooperatives (AC) formulation to develop new markets.

2. ‘Reconstruction Support with Cluster munitions disposal in Stung Treng: RSCS (Year 1)’
(US\$889,424)

Recipient: Japan Mine Action Service (JMAS)

In this project, JMAS will transfer the efficient and safe cluster munition clearance method to CMAC using demining machines, de-cluster machines, and drones in contaminated areas where mines and cluster munitions mixedly remain. The organization will also provide agricultural training for growing various types of agricultural crops during both dry and rainy

seasons for farmers on the site of cleared land as experimental farms, cooperating with Stung Treng Provincial Department of Agriculture, Forestry and Fisheries.

3. 'Capacity building of Youth in Pailin, Cambodia: Reinforcement of Community Learning Center (CLC) (Year 2)' (US\$472,113)

Recipient: Kokkyo naki Kodomotachi (KnK)

In this project, KnK will continue to support youth, especially those who suffer from unstable jobs, lack of living skills, and dropping out of schools. For the second year of this 3-year project, 4 newly added CLCs will be aimed to enhance its conditions and promotion of participation in CLCs. Through providing enhanced vocational training contents and conditions of CLCs to the youth, they will gain education or skills for creating a foundation of better life in their future.

The Grant Assistance for Japanese NGO Projects started in Cambodia in 2002 to support activities by Japanese NGOs to help Cambodia's reconstruction and development efforts at the grassroots level. Since 2002, the Government of Japan has provided over US\$44 million for 136 projects, mainly in the field of primary education, health, agriculture and mine clearance in Cambodia.

Embassy of Japan in the Kingdom of Cambodia

Tel: 023-217-161, fax: 023-214-330

Email: eco.jpn@.pp.mofa.go.jp

Website: <http://www.kh.emb-japan.go.jp>